

# はばたき

大分大学教育学部  
附属小学校便り  
平成28年 6月17日

## 「ほめ言葉のシャワーと成長ノート」で目指すもの

研究主任 築城幸司

子どもたちが安心、安全に通える学級をつくろうと、本年度より全学級で「ほめ言葉のシャワー」と「成長ノート」への取組を始めました。

「ほめ言葉のシャワー」とは、帰りの会の時に1人の子どもが教卓の前に立ち、クラスの全員がシャワーのようにほめ言葉を投げかける取組です。この「ほめ言葉のシャワー」には、2つのねらいがあります。

1つ目は、自己肯定感を高めることです。友だちから様々なほめ言葉を受けることによって、自分のいいところを再確認したり、新しいよさを発見したりすることを通して、自己肯定感を高めることができます。

2つ目は学級に受容的な雰囲気をつくることです。お互いのよさを見つめ直し、相手の立場に立って考えることができるようになったり、毎日たくさんほめあう言葉に接したりすることを通して、学級に受容的な雰囲気をつくることができます。

「成長ノート」は、行事の前後や日々の生活の中で、子どもが自分の気持ちや成長したことなどを書き記し、教師がそのことを認め価値づけたコメントを返していく取組です。この「成長ノート」にも2つのねらいがあります。

1つ目は子どもたちに、心の成長を実感させ、自己肯定感を高めることです。学校生活の中での望ましい姿や考えさせたい出来事について、自分の内面を見つめさせながらその時その場面にあった言葉で書かせたり、それに対する教師の考えを伝えたりすることを通して、心の成長を実感させることができます。心の成長を実感することができると自己肯定感を高め

ることができます。

2つ目は、各学年にふさわしい「公」を意識させることです。学年にあった望ましい行動について、個々での内省と教師との対話を繰り返すことで、「公」という意識を育成し、高めることができます。

実際「ほめ言葉のシャワー」では、クラスの全員から様々なほめ言葉を受けるので、ほめられる子はとてうれしそうにしています。またほめるほうも友だちのいいところを見つけようとよく観察している姿が見られます。「成長ノート」では、行事を通して自分の心境の変化や頑張ったことを書いています。そのことをまた次の行事前に見直すことで今の自分と前の自分を比べ心の成長をとらえることができているようです。

2つの活動とも自己肯定感を高めることが共通しています。自己肯定感が高まった子どもは、友だちのことを認めることができるし、「公」のことを意識することができると思います。全学級で「ほめ言葉のシャワー」と「成長ノート」への取り組むことで、子どもたちが安心、安全に通える学級をつくることができると考えています。

6月21日には「ほめ言葉のシャワー」、「成長ノート」の提唱者・実践者である菊池省三先生を講師として招き、研修を行います。今後さらに取組を深めていきたいと考えています。

## 《7月の主な行事》

1日 (金) 1・2年PTA	21日 (木) 家庭訪問・三者面談
5日 (火) 3・4年PTA	27日 (水) 家庭訪問・三者面談
6日 (水) 5・6年PTA	28日 (木) 家庭訪問・三者面談
20日 (水) 1学期終業式	8月1日 (月) 家庭訪問・三者面談